



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社

コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡 真 TEL 03-6202-7331

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	11,787	△1.9	986	△8.3	1,111	13.0	903	10.1
28年12月期第2四半期	12,012	△0.7	1,076	72.2	983	44.8	820	54.2

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,014百万円 (34.8%) 28年12月期第2四半期 752百万円 (29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	29.80	—
28年12月期第2四半期	27.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	29,866	22,456	75.2
28年12月期	30,113	21,623	71.8

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 22,456百万円 28年12月期 21,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年12月期	—	6.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,230	△0.5	2,000	△13.1	2,180	△5.8	1,740	△3.0	57.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	30,743,604株	28年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	421,930株	28年12月期	421,868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	30,321,730株	28年12月期2Q	30,321,787株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、設備投資や輸出が堅調に推移する中で、個人消費にも持ち直しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界及び塗料業界におきましては、総じて需要が伸び悩むなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めましたが、競争の激化、販売価格の低下などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,787百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

利益面では、化成品事業は順調に推移いたしました。売上高の減少の影響などにより、営業利益は986百万円（前年同期比8.3%減）となりました。また、経常利益は為替差損の減少、新綜工業股份有限公司の株式取得に伴う持分法による投資利益などにより1,111百万円（前年同期比13.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の計上もあり903百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,322万トンと前年同期比1.1%の増加でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、競争の激化、販売価格の低下などにより、当事業の売上高は、7,336百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は738百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第2四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は16万7千トンと前年同期比2.1%の減少でありました。需要が減少傾向となる中、当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂の売上高は減少いたしました。フレキシ・グラビアインキ用樹脂の売上高は前年同期並みとなり、記録材料用樹脂の売上高は増加いたしました。その結果、当事業の売上高は、2,516百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

利益面では、製品販売構成の高付加価値化の進捗などもあり、セグメント利益は134百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出が順調に推移したことにより1,934百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面では、売上高の増加などにより、セグメント利益は302百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

受取手形及び売掛金の減少、短期貸付金の減少、及び現金及び預金の増加により流動資産は18,442百万円（前連結会計年度末比1,241百万円減）となりました。

(固定資産)

新綜工業股份有限公司の株式取得による投資有価証券の増加、及び有形固定資産の増加により固定資産は11,424百万円（前連結会計年度末比995百万円増）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、及びその他の流動負債の減少により流動負債は6,410百万円（前連結会計年度末比970百万円減）となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少により固定負債は1,000百万円（前連結会計年度末比108百万円減）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により純資産は22,456百万円（前連結会計年度末比832百万円増）となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.2%となりました。また、有利子負債残高830百万円を自己資本で除した倍率（D/Eレシオ）は0.04倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は前回業績予想を下回る見込みではありますが、化成品事業の売上が順調に推移していること、製品販売構成の高付加価値化の進捗、及び新綜工業股份有限公司の株式取得に伴う持分法による投資利益、投資有価証券売却益の計上などにより、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回業績予想を上回る見込みでありますので、平成29年2月13日に公表いたしました平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）の通期の連結業績予想を下記の通り修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	24,670	1,900	1,960	1,530	50	46
今回修正予想 (B)	24,230	2,000	2,180	1,740	57	38
増減額 (B - A)	△440	100	220	210		
増減率 (%)	△1.8	5.3	11.2	13.7		
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	24,346	2,301	2,314	1,794	59	18

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,047	1,860,452
受取手形及び売掛金	10,319,051	8,838,976
電子記録債権	595,793	544,703
商品及び製品	1,938,939	2,171,098
仕掛品	353,212	361,020
原材料及び貯蔵品	898,403	896,719
短期貸付金	3,716,267	3,266,778
その他	511,628	509,331
貸倒引当金	△10,330	△6,758
流動資産合計	19,684,012	18,442,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,497,220	2,446,974
機械装置及び運搬具(純額)	1,718,763	1,682,915
土地	4,472,035	4,472,035
その他(純額)	365,296	576,190
有形固定資産合計	9,053,316	9,178,116
無形固定資産	95,371	106,887
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115,100	1,986,937
その他	212,902	200,211
貸倒引当金	△47,565	△47,556
投資その他の資産合計	1,280,438	2,139,591
固定資産合計	10,429,127	11,424,595
資産合計	30,113,139	29,866,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,579,171	3,214,486
短期借入金	830,000	830,000
未払法人税等	411,535	288,696
賞与引当金	555,165	549,354
その他の引当金	—	25,645
その他	2,004,727	1,501,895
流動負債合計	7,380,599	6,410,077
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,925	15,925
退職給付に係る負債	823,328	666,396
資産除去債務	84,345	84,879
繰延税金負債	170,409	219,068
その他	14,878	14,097
固定負債合計	1,108,886	1,000,366
負債合計	8,489,486	7,410,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	18,257,223	18,979,021
自己株式	△104,834	△104,913
株主資本合計	21,718,567	22,440,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,553	488,042
繰延ヘッジ損益	1,348	812
為替換算調整勘定	108,784	118,359
退職給付に係る調整累計額	△621,601	△591,026
その他の包括利益累計額合計	△94,914	16,186
純資産合計	21,623,652	22,456,473
負債純資産合計	30,113,139	29,866,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	12,012,165	11,787,727
売上原価	8,744,851	8,569,897
売上総利益	3,267,313	3,217,830
販売費及び一般管理費	2,191,229	2,230,960
営業利益	1,076,083	986,869
営業外収益		
受取利息	6,327	6,160
受取配当金	11,883	12,677
仕入割引	7,278	7,411
受取保険金	39,679	—
持分法による投資利益	—	100,217
その他	23,711	29,091
営業外収益合計	88,880	155,557
営業外費用		
支払利息	2,137	2,004
売上割引	2,670	2,632
為替差損	172,150	24,248
その他	4,646	2,367
営業外費用合計	181,604	31,252
経常利益	983,360	1,111,174
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77,696
負ののれん発生益	77,822	—
特別利益合計	77,822	77,696
特別損失		
固定資産除却損	1,605	3,521
特別損失合計	1,605	3,521
税金等調整前四半期純利益	1,059,577	1,185,350
法人税、住民税及び事業税	218,286	245,241
法人税等調整額	20,641	36,380
法人税等合計	238,928	281,621
四半期純利益	820,648	903,728
親会社株主に帰属する四半期純利益	820,648	903,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	820,648	903,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,636	71,488
繰延ヘッジ損益	△1,217	△535
為替換算調整勘定	△60,371	△8,081
退職給付に係る調整額	28,413	30,574
持分法適用会社に対する持分相当額	—	17,656
その他の包括利益合計	△67,812	111,101
四半期包括利益	752,836	1,014,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752,836	1,014,829
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,059,577	1,185,350
減価償却費	432,130	434,527
負ののれん発生益	△77,822	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,264	△3,474
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△89,622	△112,876
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,257	△5,478
その他の引当金の増減額 (△は減少)	20,355	25,645
未払役員賞与の増減額 (△は減少)	△29,950	△40,710
受取利息及び受取配当金	△18,211	△18,837
支払利息	2,137	2,004
為替差損益 (△は益)	162,077	16,294
固定資産除却損	1,605	3,521
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△77,696
持分法による投資損益 (△は益)	—	△100,217
売上債権の増減額 (△は増加)	1,125,510	1,511,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	265,014	△241,518
仕入債務の増減額 (△は減少)	△593,362	△360,038
未収入金の増減額 (△は増加)	35,564	△595
その他	△103,611	△303,156
小計	2,211,914	1,914,250
利息及び配当金の受取額	18,211	18,837
利息の支払額	△2,177	△2,025
法人税等の支払額	△321,158	△376,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,906,788	1,554,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△374,660	△686,708
投資有価証券の取得による支出	△2,035	△719,965
投資有価証券の売却による収入	—	116,449
無形固定資産の取得による支出	△4,655	△25,345
子会社株式の取得による支出	△150,000	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△804,240	449,488
その他	3,651	5,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331,939	△860,245
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△181,779	△181,742
その他	△4,343	△4,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,123	△186,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,643	△7,935
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	321,082	499,405
現金及び現金同等物の期首残高	817,753	1,361,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,138,835	1,860,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	7,546,434	2,609,533	1,856,196	12,012,165	—	12,012,165
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	26,360	295,494	4,951	326,806	△326,806	—
計	7,572,795	2,905,028	1,861,148	12,338,972	△326,806	12,012,165
セグメント利益	890,101	131,409	254,178	1,275,690	△199,606	1,076,083

(注) 1. 売上高の調整額△326,806千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△199,606千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	7,336,975	2,516,453	1,934,298	11,787,727	—	11,787,727
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	25,104	260,139	4,805	290,049	△290,049	—
計	7,362,079	2,776,593	1,939,103	12,077,776	△290,049	11,787,727
セグメント利益	738,937	134,308	302,388	1,175,634	△188,764	986,869

(注) 1. 売上高の調整額△290,049千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△188,764千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。